

研究に関するお知らせ

2021年7月8日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、京都民医連あすかい病院倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

研究課題名：

ケアミックス病院における計画外再入院の予測:後視的コホート研究

研究期間：

2021年8月1日～2022年3月31日までを予定しています。

対象：

2016年4月から2021年3月の期間に京都民医連あすかい病院、京都民医連中央病院で退院となった65歳以上の方。死亡退院、もしくは転院された方は除きます。

研究目的：

2つの病院を退院された患者さんがどの程度再入院しやすいかを予測する研究です。海外で作られた予測指標の日本での当てはまりを評価することに加えて、新たな指標を作成し、その性能を評価します。

方法：

既に記録された診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別や、入院の原因や併存症、採血のデータがあります。研究結果は学会および論文にて公表します。

個人情報：

臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。対象となる方の経済的な負担は一切ありません。また、この研究に参加されることによる謝礼もありません。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

本研究で収集した試料・情報は、同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性があります。他の研究への二次利用する際は、新たな研究計画について倫理審査委員会で承認された後に行います。また、ホームページ上で、研究の目的を含む研究実施の情報を公開し、研究対象者が拒否できる機会を保障します。研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた研究責任者が保管・管理します。

試料・情報の管理について責任者：

京都民医連あすかい病院 内科 片岡裕貴

利益相反について：

本研究は自己資金にて行われます。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等：

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。閲覧を希望される方は、お問い合わせください。

個人情報の開示に係る手続きについて：

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を各医療機関の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、入院した医療機関にお申し出ください。

本研究全体の研究代表者：

京都民医連あすかい病院 内科 片岡裕貴

お問い合わせ先：

京都民医連あすかい病院 内科 片岡裕貴
075-701-6111